

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にわっさむの元気情報を発信

vol 16



和寒町の情報を札幌市民に向け発信し、「自然の恵み野 和寒町」をPRするとともに、都市と農村の交流人口拡大を図ることを目的に札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送をおこなっています。放送日は毎月第4火曜日午後2時～2時30分（30分間）です。

■「月刊わっさむ」11月25日 第45回放送 株式会社和寒シーズ 代表取締役 平崎 徹さんがゲスト出演

JR札幌駅北口「北海道どさんこプラザ」で昨年12月に開催された、和寒町の特産品をPRする「わっさむフェア」について紹介していただきました。

「ペポカボチャはヨーロッパでは健康食品として認可され、種やオイルが食材として使用されています。」「現在は中国産がほとんどを占めるカボチャの種ですが、わっさむペポナッツは生産から加工・販売まで全て和寒町でおこなっている安心・安全な食材です。和寒町の新しい特産品をぜひ味わってみてください。」と来場を呼びかけました。



■「月刊わっさむ」12月23日 第46回放送 野菜組合連合会キャベツ部会理事 川江 峰さんが電話中継



越冬キャベツが収穫時期を迎え、忙しい作業の中、PRしていただきました。

「今シーズンは初雪が早かったものの、根雪になるのが遅く、スタートが遅くなりました。冬場の収穫作業はとても大変で、吹雪の中の収穫作業中に遭難しかけたこともありました。」と苦労話を披露され、「苦労して作ったキャベツは札幌市内のスーパーでも販売していますので、ぜひ食べてみてください。」と力を込めていました。また、生で食べても甘くて美味しい越冬キャベツですが、千切りにして、熱い油に醤油や桜エビなどを混ぜたドレッシングをかけて食べると美味しいと、キャベツ農家ならではの美味しい食べ方を紹介していただきました。

■「月刊わっさむ」1月27日 第47回放送 極寒フェスティバル実行委員長 和寒町観光協会会長 渡邊裕治さんが電話中継

2月1日に開催された「第26回わっさむ極寒フェスティバル」の内容を紹介していただきました。

放送日には雨が降るなど、実行委員会でも会場準備に苦慮していましたが「子どもに大人気のスノーラフティングや、オリジナル競技のピン玉世界選手権など、どなたでも楽しめるアトラクションを用意しています。」「今年から会場をふれあいのもりに移し、四阿（あずまや）で寒さをしのぐことができますので、冬のジンギスカンを味わいながらゆっくり過ごしてください。」と来場を呼びかけました。



◆放送を聴くためには

放送を見たり聴いたりするためには、三角山放送局のHP (<http://www.sankakuyama.co.jp>) でご覧になれます。また、過去の放送内容は、図書館で聴くことができます。

札幌市内（西区周辺地域）でラジオ番組を聴くには、周波数FM76.2MHzに合わせてください。

■番組のお問い合わせは役場総務課まちづくり推進係（TEL32-2421）まで